

明るい町づくり運動

―豊かな郷土づくり部会―

渡 敏 昭

豊かな郷土づくり部会では去る六月二十五日会合を開いて、当面推進していく新しい課題を六項目にまとめ、八月末までに担当団体がそれぞれ実践計画をたてて、九月より本格的始動に乗り出すことをとりきめました。

(実践項目) (担当団体)

一、話し合いの場を(自治会、PTA)

広げる運動(外各種団体)

お互いに親密度と理解を深め円満にして協調と活力ある郷土づくりのため、各団体が話し合いの場をできるだけ多くもつ。

二、豊かな心の育成勉強会(公民館)

講師を招いて教養・修養を磨く場を設け、豊かな心を養っていく。

三、生活の改善(婦人会、自治会)

科学の知識や経済の法則を十分に  
応用して無駄を省き、消費を有意義  
にして生活内容の充実・向上を計る。

四、文化祭の充実強化(公民館)

文化祭が当日のみで終ることなく  
この日が年中の成果総仕上げであり  
又、出発の日として更に前進へと進  
め年中間断なく取り組んでいく。

五、郷土芸能の保存育成(石見神楽同好会)

郷土芸能の育成強化 高山神楽団  
を計り文化の香りを 田植ばやし保存  
すいながら、うるお 会、中学校  
いのある生活を味っ 盆踊り保存会  
ていく

六、地場産業の開発と研究(農業友の会)

地場産業の開発と農業の活性化を  
研究し、成果を各家庭に広め郷土の  
産業を振興させて、豊かな家庭・豊  
かな郷土に盛り上げていく。

市政懇談会

公 民 館



去る七月十九日、高山会館に於て、  
市政懇談会が開かれました。

出席者約七十名、市側から市長、教

育長、部長などが出席、明るい町づく  
りをテーマに話し合いが行われました。  
最初に市政全般についてのスライド  
映写の後、市長の挨拶があり、老人福  
祉センターの設立、コンピューター、  
レントゲン導入の計画など本年度の事  
業の概略について説明がありました。  
続いて一般の意見交換に入り、市道

久具線の改良工事等に対する謝礼の言  
葉、農業友の会、婦人加工クラブを代  
表して大代町の農業活性化をめざして  
農産加工場の建設など要請、又明るい  
町づくりへの意見も出され、更に大代  
町学校教育父母の会より統合に関する  
学校基本構想などをめぐって質疑応答  
が交わされました。

市長は大田市学校教育審議会から示  
された答申など説明を加え、更に教育  
委員会としては此の答申に副って努力  
をするが、統合に関しては、学校教育  
父母の会を始め自治会、町民の方々の  
総意を図るなど慎重でした。

その他熱心な意見が続出午後五時終  
了しました。今年には町民の皆さんの出  
席が多く、大変有意義な一日でした。

# 学校統合問題に

ついで

柿田 横手 新治郎

昭和五十一年中学校校舎が焼失し、その直後統合問題があつたが地元の強い要望で落着きをとりもどし、以来八年を経過した今日、又、統合問題が再燃した。それが中学校でさえ賛成できないのに小学校までも統合させようとしている事に重ねて強く抵抗を感じている。

私共は教育の効果を考える時に、現在のように一学級十人少々の子供の学校より大人数の学級で、しかも設備の整った学校で教育を受ける方がより教育効果が高まり子供達の将来にプラス面が多いだろう事は十分承知してはいるが、問題は遠方の他町に子供を通学させることが教育上において又郷土の将来の発展と生活の基盤たる家庭経済の維持、そして非常に困難を伴う冬の通学の問題等々、色々眺めてマイナス面や損失の大きい事を認識して反対しているのである。

具体的に問題点を拾ってみると、  
一、 迫力も活気もない郷土となり、過疎化が益々進行する。

二、 交通不便に加え通学距離は長くなり家経費の増大と家族子弟の疲労・負担は過重となり、クラブ活動・自宅学習も困難となる。

三、 冬期の通学は極度に困難となり、積雪による徒歩困難のためバスに遅れ登校不能の子供も発生する。

四、 家庭と学校との連携が疎遠勝となり、その協力体制及び教師による生活指導は弱体化する。

五、 道路状況は極めて悪く、交通事故発生のおそれ大で危険度も大きい。

## ひろばアンケート結果

先月各自治会長さんに取りまとめて戴きました「ひろば大代」のアンケート調査の結果をお知らせ致します。  
五十五名の多くの皆さんから貴重なご意見やご要望等沢山いただきました。今後大

## 8月少年健全育成指標

健康に気を付け危険から身を守ろう

いに参考にして、よりよい編集に努めたいと思つていますので今後ともよろしく御指導の程お願い申し上げます。  
集計結果(集めた調査票四五〇枚)

問一、あなたは「ひろば大代」(公民館報)を読んでいますか?  
(イ) 読んでいる …………… 二五七人 57%

(ロ) 時々読んでいる …………… 一二人 27%

(ハ) あまり読んでいない …………… 四六人 10%

無回答 …………… 二六人 006%

計 四五〇人  
問二、記事内容について希望のもの二つ以上〇で囲んで下さい。

(ロ) 健康に関する記事 …………… 二五一人 56%

(ニ) 生活に役立つ記事 …………… 二三五人 52%

(ハ) 郷土の歴史記事 …………… 一一九人 26%

(ニ) お知らせ記事 …………… 一〇九人 24%

(イ) 社会教育的記事 …………… 九二人 20%

(ロ) 団体の活動模様 …………… 八七人 19%

(ハ) 公民館活動 …………… 八四人 19%

(ニ) 趣味娯楽記事 …………… 七五人 17%

(イ) 意見や主張 …………… 六八人 15%

(ロ) 修養的記事 …………… 五四人 12%

無回答 …………… 七人 02%